

# 人物風土記

題字は  
山中竹春 横浜市長

の影響で小学生から野球を始め、中でも蒔田中学校時代の指導者・森新さんの影響が大きい。早くから試合に出場し、主将から試合に出場し、主将も任されたが、「とにかく徹底しかった。1年生が遅刻しても『お前が悪い』と怒られたり」。だが、2001年に打診を受けて監督に。以来大事にしているのは「ブレない」ことだ。「中途半端なことをしたらコーチも選手もやりづらい。しっかりと貫くことが信用にもつながる」。21年には息子がコーチを、孫が主将を務めたチームで全国大会へ。ユニフォーム姿の3人で整列できたのはやはり感慨深かった。「野球はどこでやっても一緒、ではない。誰と巡り会うかでの後の野球への思いも変わる」

○：阪神甲子園球場で3月18日から行われる第95回記念選抜高校野球大会(センバツ)。深谷通信隊跡地のグラウンドを拠点とする中学硬式野球クラブ「横浜泉中央ボーイズ」のOB3選手が慶応高(港北区)、二松学舎大附属高(東京)から出場予定という。「これまでもOBの甲子園出場はあったけど、3人同時にレギュラーでというのはない。今から楽しみ」と目を細める。

○：南区出身。父や兄だ「場面ごと、常にいろいろなことがあるが、あくまで育成年代。野球をイヤにみのため、「誰も見ていない平日が大事。その時間にどれだけ個人で工夫した練習ができるか」。

○：一父親として関わり始めた泉中央だったが、2001年に打診を受けて監督に。以来大事にしているのは「ブレない」ことだ。「中途半端なことをしたらコーチも選手もやりづらい。しっかりと貫くことが信用にもつながる」。21年には息子がコーチを、孫が主将を務めたチームで全国大会へ。ユニフォーム姿の3人で整列できたのはやはり感慨深かった。「野球はどこでやっても一緒、ではない。誰と巡り会うかでの後の野球への思いも変わる」

## 巡り会った仲間と白球を



●選抜高校野球大会にOB3選手が出場する横浜泉中央ボーイズの監督を務める

## 宇野 和之さん

戸塚区在住 67歳

○：泉中央には現在、中学1年生から3年生まで94人が所属。レギュラーを掴むには激しい競